

見学地5 東京電力廃炉資料館

東京電力廃炉資料館は、発電所周辺地域をはじめ、福島県内、さらには国内外の方が、原子力事故の事実と廃炉事業の現状等を確認できる場として、東京電力施設「旧エネルギー館」に設置されました。

施設内は3つのゾーンで構成されており、東京電力からの挨拶を伝える「ゾーン1」、原子力事故を振り返りその反省と教訓を伝える「ゾーン2」、廃炉事業の全容と最新の現場の状況を伝える「ゾーン3」となっています。



福島第一原子力発電所構内の状況が映像で体験できる（エフ・キューブ）



福島第一原発汚染水対策が見渡せる模型を展示

開館情報

開館時間：9:30～16:30
休館日：毎月第3日曜日
・年末年始
入館料：無料



放射線物質によるリスク低減等の改善への取り組みを紹介

見学地6 中間貯蔵工事情報センター

中間貯蔵施設は、除染により発生した土壌等を最終処分するまでの間、安全かつ集中的に貯蔵するための施設です。中間貯蔵工事情報センターは、除去土壌等の運送や施設整備工事等の中間貯蔵施設工事について、概要や工事の進捗状況、安全への取り組み等を紹介する施設です。

施設内では、中間貯蔵施設内の施設風景や中間貯蔵工事の全体像、最新情報等を映像やパネルで展示しています。



施設の入口。広々とした駐車場を用意している



映像で中間施設周辺の風景や工事の状況を展示



パネルで工事の概要などを展示



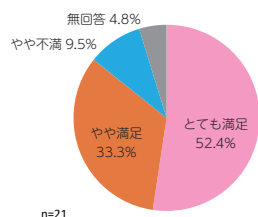
除去土壌の輸送の様子（富岡町）

開館情報

開館時間：10:00～16:00
休館日：日曜・月曜
（月曜日が祝日の場合は翌平日）
・年末年始
入館料：無料

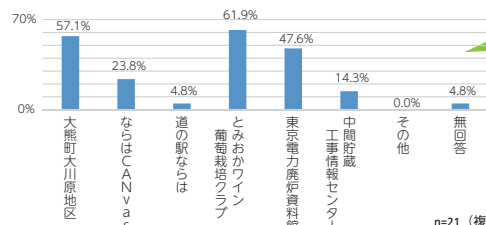
参加者アンケートの結果

見学会の感想



全体の85.7%が概ね満足でした

印象に残った見学地



「とみおかワイン葡萄栽培クラブ」は多くの方が印象に残りました

福島復興・未来志向プロジェクトシンポジウム（2日目）

～福島復興と未来に向けて～

現地見学会（バスツアー）報告ルポ

2019年6月22日（土）



1日目のシンポジウム・情報交換会に引きつづき、大熊町、富岡町、楡葉町で歩み出した復興の取組みや原子力災害からの環境回復に関する施設などを視察する現地見学会（バスツアー）を実施しました。



9:00 出発

（いわきワシントンホテル）

10:00 見学地1

大熊町 大川原地区（復興拠点）

10:40 車中視察

富岡町～楡葉町まで

11:05 見学地2

ならは CANvas

11:35 見学地3（昼食含む）

道の駅ならは

12:50 見学地4

とみおかワイン葡萄栽培クラブ（小浜園場）

13:50 見学地5

東京電力廃炉資料館

14:40 見学地6

中間貯蔵工事情報センター

16:00 到着・解散

（JRいわき駅）

見学地1 大熊町 大川原地区（復興拠点）

大川原地区では、「いちご栽培施設」や「お米の実証栽培」「ソーラーパネル」など復興に取り組んでいるほか、大川原地区復興拠点では、役場新庁舎、公営住宅、再生賃貸住宅等が立地しはじめました。

役場新庁舎は「防災棟」に繋がっており、災害時の避難や行政機能の継続ができるように備えています。また、庁舎に隣接する「みんなの広場」では、芝や花により心地よい空間が広がっています。



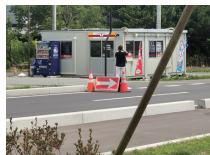
イチゴ栽培施設



草刈り整備された農地



大熊町役場（左「防災棟」、手前「みんなの広場」）



コンビニエンスストア（平日8:00～18:00、土日9:00～15:00）



大熊町生活循環バス（平日9本、土4本）

車中視察 富岡町～檜葉町まで

富岡町副町長、環境省福島地方事務所渉外広報課森田課長による説明を聞きながら、富岡町から檜葉町までのまちなみを車窓から視察しました。



富岡町副町長による説明



JR常磐線（夜の森駅）を見下ろす



さくらモールとみおか

見学地2 ならは CANvas

9回のワークショップを通して町民の声を集め、施設への期待、思いを設計に盛り込んだ新たな交流拠点として、平成30年7月30日にオープンしました。商業施設「ここなら商店街」が隣接し、町民の賑わいや交流の拠点となっています。

ゆったり空間がありました



ならは CANvas（全景）



ここなら笑店街



ならは CANvas（室内1）



吹き抜けで明るい室内

ならは CANvas（室内2）

見学地4 とみおかワイン葡萄栽培クラブ（小浜園場）



とみおかワイン葡萄栽培クラブ 小浜園場の活動は、ワインを核としたまちづくりをテーマとして、ワイン葡萄栽培による「新しい農業」（六次産業化）、及び「美しい緑豊かな環境形成」の両立を目指しています。

活動は、2015年より富岡町民有志10名弱で試行的に開始しましたが、今では30名を超える会員数となりました。ブドウ畑には、シャルドネやソービニオンブラン、メルロなど、白ワイン、赤ワイン品種のブドウ苗（約1500本）が試験栽培されています。



海を見渡す高台にブドウ畑が広がる



とみおかワイン葡萄栽培クラブ 小浜園場では、環境省「福島再生・未来志向プロジェクト」FS事業の採択を受け、農林業の効率化による脱炭素・復興支援の取り組みを進めています。

ドローンによる農業効率化や情報収集について、展示やデモンストレーションを見学しました。



潮風を受けて、すくすく育っています

見学地3 道の駅ならは

温泉保養施設の災害復旧工事が完了し、2019年4月25日より温泉保養施設が再開しました。現時点では、温泉、フードコート、売店が利用できます。※道の駅ならは物産館は、今後復旧工事を行う予定です。



売店では、地域特産のゆずを使ったお土産などを販売



フードコートでは、地域の郷土料理が食べられる（写真はすいとん定食）



本施設は、「ヴィレッジ」の持つ現代的なイメージとハマ街道木戸宿の歴史的町並みのイメージをモチーフとし、また周辺の自然の既存の地形と調和した施設デザイン計画としている。